

投稿の注意

会員諸氏は次の事項をお含みの上投稿して下さい。

1. 藻類に関する論文、総説、論文抄録、新刊紹介、ノート、藻類分布資料など(和文または英文)を掲載します。
2. 原稿は正本1部のほか、副本1部(正本のコピーで良い。但し写真はゼロックスコピーなど不鮮明なものは不可)計2部を送付すること。
3. 原稿は簡潔に書き、論文、総説は図、表、摘要、文献を含めて印刷6頁以内、その他は3頁以内を限度とします。印刷1頁は和文の場合は400字詰用紙で約2.5枚、英文の場合は約400語を目安として下さい。なお、編集委員会が必要と認めた場合は制限頁数を超えた分の実費を著者負担で掲載することがあります。この場合の著者負担額は1頁につき5,000円です。
4. 原稿送付の際に、原稿の枚数、図や表の数、及び表題の欄外見出しと希望する別刷数を記した用紙を添えて下さい。
5. 原稿の掲載の取捨、順序、体裁、校正は編集委員及び幹事に一任下さい。著者校正は初校に限りです。
6. 別刷の費用は著者負担とします。但し論文と総説に限り50部の費用は学会で負担します。

7. 原稿は掲載後に返送します。

8. 原稿作成にあたっては次の体裁を基準にして下さい。

a) 平仮名まじり、横書き、A-4、400字詰原稿用紙をもちいて下さい。

b) 図はすべて原図を送って下さい。コピーはうけつけません。図中の文字は適当な大きさの活字をはるか、黒インクで器械を用いていねいに書いて下さい。図や表の説明は英文で別紙とし、それらを入れる位置を本文中に明示して下さい。図には倍率を示す棒線をいれて下さい。図の裏にはすべて著者名・表題・図番号・希望縮尺を記入して下さい。図及び表はなるべく印刷仕上りの横巾最大5cm又は10cmになるよう配慮して下さい。

c) 原稿には題目、著者名、著者の所属機関名、所在地の英文名もつけて下さい。和文の論文・総説に限り印刷1頁(約400語)以内の英文摘要(A-4、タイプ、ダブルスペースによる)をつけて下さい。英文論文の和文要約は400語以内です。名国会員の場合編集部でその要約を邦訳することがあります。

d) 数字はアラビア数字をもちい、数量の単位はメートル法によります。学名などイタリック活字にするところはアンダーライン1本、人名などでスモールキャピタルにするところはアンダーライン2本、ゴシック活字にするところは波状アンダーライン1本を記入して下さい。

(例) Batrachospermum ectocarpum Sirodot, Summary, sec, min, hr, μ m, m μ , mm, cm, m, μ l, ml, l, μ g, mg, g, N, M, ppm, lux, w, amp, g (gravity) 25°C.

e) 文献はおわりに一括し、引用順に番号をつけ、文中の該当人名、または事項の後に^{1), 2-5), 8, 10)}のように肩書きし、形式は次の例にならして下さい。

- 1) Iyengar, M.O.P. (1940) On the formation of gametes in Caulerpa. Journ. Ind. Bot. Soc. 18: 191-194.
- 2) Fritsch, F. E. (1935) Structure and reproduction of the algae 1. Cambridge Univ. Press, London: 1-791.
- 3) Hutner, S. H. and Provasoli, L. (1951) The phytoflagellates. In A. Lwoff, "Biochemistry and Physiology of Protozoa 1". Acad. Press, New York: 27-128.
- 4) 秋山優・佐川紀子 (1970) 本邦産土壌藻類 Zygonium の生態学的特性. 藻類 18: 15-20.
- 5) 猪野俊平 (1947) 海藻の発生. 北隆館, 東京: 1-255.
- 6) 森村祐次 (1965) 微細藻類の培養法. 藻類実験法 (田宮博・渡辺篤編). 南江堂, 東京: 46-67.

原稿に関する通信は、〒184 東京都小金井市貫井北町 4-1-1, 東京学芸大学生物学教室内 日本藻類学会編集幹事に願います。